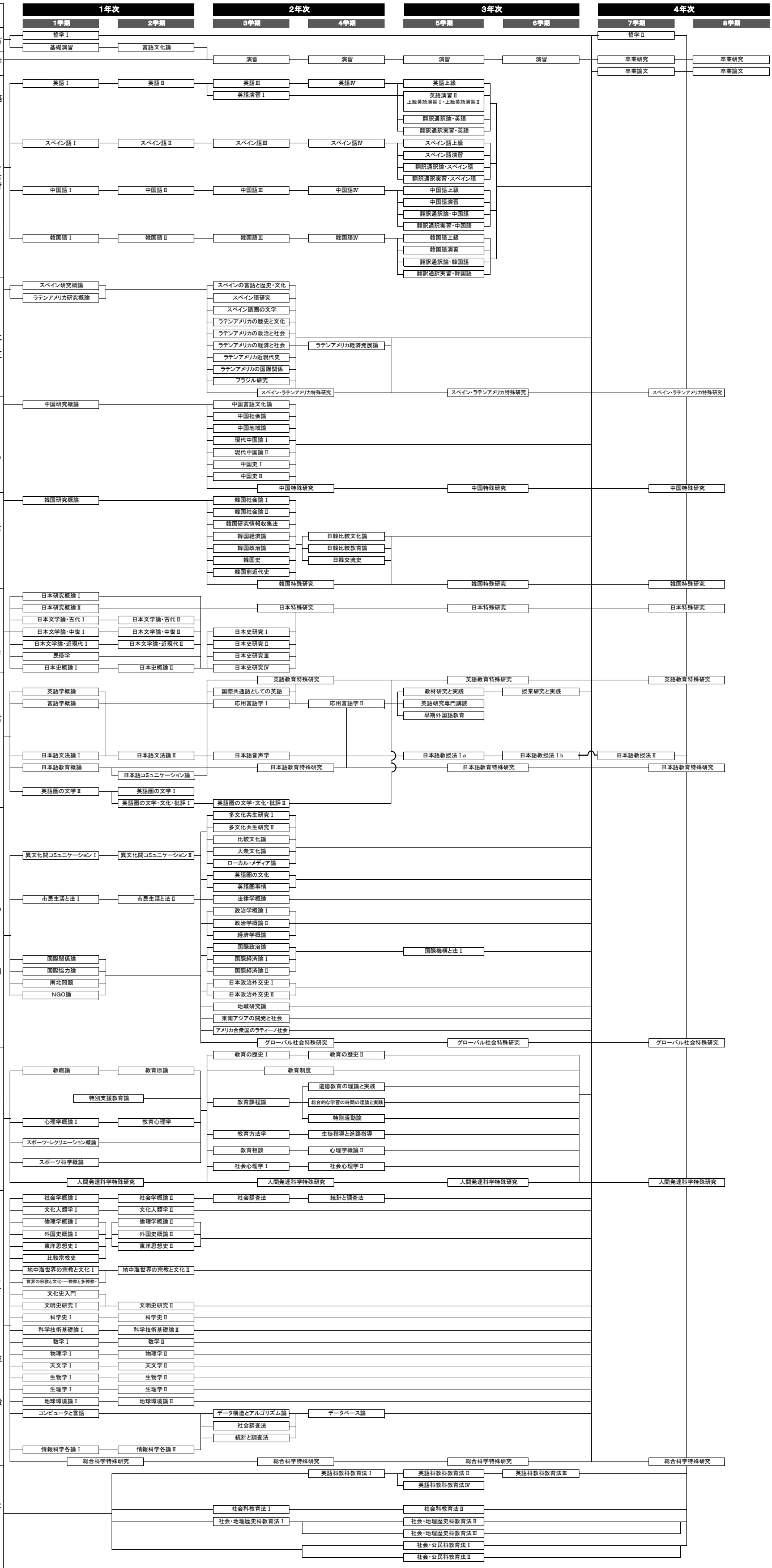
言語文化学科　履修系統図

部門	部門の学修・教育目標
学科基盤科目	「哲学」はいくつかのテーマについて研究調査・討議を行うことで大学で学ぶことの出発点・到着点を明らかにし、教養教育の基礎となる思考力、判断力、そして行動力を向上させる。「基礎演習」「言語文化論」は大学生活の基盤となる準備を身に付け、研究科目群で学ぶ準備を整える。
演習・卒業研究・卒業論文	第2学年から第3学年の演習では、各演習のテーマに沿った少人数での協働学習を通して、コミュニケーション能力や問題解決能力を身に付ける。第4学年の卒業研究を通して、各自のテーマについて研究し、その成果を卒業論文にまとめる。
外国語科目	「英語とスペイン語」「英語と中国語」「英語と韓国語」という組み合わせから1つを選択し、2言語を併習するカリキュラムとする。2つの外国語を「読む」「書く」「聞く」「話す」という運用能力を専門的なレベルに到達させるカリキュラムを実施する。英語は習熟度別、それ以外の言語は初歩から学ぶ。 各言語とも、学習段階が上がるごとに、リーディングおよびディスカッション、ライティング、スピーキングといった運用能力を総合的に修得し、自分の見解をまとめ、表出できるようにする。 各言語の上級、演習ではさらなる技能の向上を目指すとともに、多様かつ高度な表現・作文・文章読解、様々な場面でのコミュニケーション能力を身に付けられるようにする。また、翻訳通訳論、翻訳通訳実習では基本理論を修得後、実務的な翻訳通訳の実践を行えるようにする。
スペイン・ラテンアメリカ研究科目群	スペイン語圏およびブラジル、カリブ地域の総合的地域理解を目的とする。スペイン・ラテンアメリカの基礎知識を概論で獲得後、言語・文学を含め、他文化を理解するときに必要な、社会の歴史、文化、経済、抱える現代的問題など広い知識と他地域との相互関係の理解を深める。
中国研究科目群	中国および台湾、シンガポール等々を含む中国語圏と華人社会に対する総合的地域理解を目的とする。中国語圏の基礎知識を概論で獲得後、歴史、文化、社会事情、経済など広い知識と他地域との相互関係についても理解を深める。
韓国研究科目群	韓国語圏を中心に総合的地域理解を目的とする。韓国社会の基礎知識を概論で獲得後、言語・文学を含め、他文化を理解するときに必要な、地域史、ディアスポラ、ジェンダー、大衆文化、経済、政治など、韓国語圏の社会が抱えている現代的問題について広い知識を修得し、他地域との相互関係の理解を深める。
日本研究科目群	:文学・民俗・歴史・言語の研究を基礎として日本文化を広く理解するための知識と方法を学び、その上で日本に関する様々な個別的問題について深く考える力を養うことを目標とする。日本研究概論Ⅰは文学・民俗・歴史を基本の立場とし、日本研究概論Ⅱは言語を基本の立場とする日本文化研究概論である。言語教育研究科目群に開設された日本語学関連科目とも関わりながら、視野の広い学びを目指していく。
言語教育研究科目群	英語と日本語それぞれについて言語学習・教育に関わる専門性の高い勉学を行い、言語教育に携わるための素養を身につけることを目的とする。概論科目でそれぞれの基礎概念を学ぶと共に、その広がりを理解することを目標とする。また、特殊研究科目ではより実践的・個別的な話題について知識と技能を高める。
グローバル社会研究科目群	さまざまな政治的・文化的背景をもつ人々が共存する国際社会に関わる基本的かつ重要な論点について総合的に学ぶことを目的とする。国家や非国家（国際機関、市民組織、民族集団など）の行為主体が織りなす国際社会の構造やダイナミズムについて検討し、様々な文化や価値観を持つ個人や集団が交流したり共生したり衝突したりしている身近な地域（ローカル）社会についても考察する。単に社会の実態に関する知識を身につけることだけにとどまらず、普遍化（グローバル化）の方向に働く秩序構築の動きをときに批判的に捉え、また社会の周縁に追いやられている人々や文化に目を向け、現代世界の直面する諸課題やその解決のための道程を見極める創造的で柔軟な思考力を獲得する。
人間発達科学研究科目群	教育学、心理学、健康・スポーツ科学を中心として、人間の成長・発達に関する総合的理解を図ることを目的とする。教育学、心理学、健康・スポーツ科学に関する基礎的知識、理論、考え方等を概論で学習後、学校、家庭、地域社会における人間の成長・発達にかかわる諸課題について、各論科目、特殊研究科目の学習を通して理論的、実践的に考察を深めていく。
総合科学研究科目群	3つの部門からなる。 1. 人文科学・社会科学系の宗教、思想、文化、社会、歴史を学ぶ部門では、歴史を概念的と同時に実践的に学習研鑽する。いわゆる人文科学・社会科学系の幅広い知識を身につけると同時に、文献や史・資料の扱い方を学ぶ。 2. 自然科学系の部門では、科学史、数学、天文学、宇宙論、物理学、生物学、生理学、地球環境論などの概論的科目の履修をした上で、より専門的な特殊研究を通じて、自然科学的な思考方法あるいは科学技術の論理を修得する。 3. 多言語情報処理の部門では基礎情報リテラシーを学び、コンピュータによる多言語処理の知識と技能を育て、コンピュータ全般にわたる基礎及び応用能力を養う。
免許科目	教員免許「英語」、「社会」、「地理歴史」または「公民」の取得に必要な教科の指導法を修得し、中等教育での英語教育、社会科教育を実践できるようにする。
全学共通教養科目	全カリの欄を参照